

## 第47回自然災害科学総合シンポジウム開催

平成 22 年 12 月 20 日（月）、東京工業大学蔵前会館にて、第 47 回自然災害科学総合シンポジウムが開催された。

平成 21 年度科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究の研究成果 1 件、防災研究所重点推進型共同研究「突発災害時における初動調査体制拡充および継続的調査研究支援システムの試行」による研究成果 2 件が発表されたのち、「自然災害総合研究班から自然災害研究協議会へ：50 年の歩みを振り返って」という講演があった。この中で自然災害研究協議会の果たすべき役割が示され、その目標が再認識された。

また、もう 1 つの重点推進型共同研究「多分野の研究者との連携およびステークホルダーとの協働による新たな総合的災害観測・調査・防災研究推進の枠組みに関する検討」による講演が 6 件なされた。講演の内容は、「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り -研究プロジェクトの概要について-」、「首都直下地震防災・減災特別プロジェクトで見えてきたもの」、「市民の目を見た防災研究」、「減災に取り組む市民活動、『今』を把握するウェザーリポート、その現状と可能性について」、「世界への防災授業の発信 -WIDE University, School of Internet の試み」であった。

防災研究における他分野の研究者との共同研究のきっかけ、研究連携、研究推進を図るよい機会であった。これは協議会の重要任務の 1 つである。



講演風景（参加者は 52 名）